

2021年度 学校関係者評価委員会の総合的な評価

学校関係者評価委員

片村優美 井上薫 高橋徳庫 安田光則

・働いている家庭の保護者としても、幼稚園で子どもたちを預かっていただけることはありがたく思っている。新型コロナウイルス感染防止対策の影響で、園内を訪れる機会が減ってしまったが、こはんまつりの時には入ることができた。他の保護者と触れ合う機会も少なくなったので、もっと深めたいと思う。園舎の建替えにより、子どもたちの生活環境が整えられ、給食もはじまることは特にありがたい。新しい環境の中で小さい子どもたちのふれあいがより深まることを願う。

・旧園舎から新園舎への移り替わりの中で、色々なことに配慮し工夫がされた1年間となったと思う。新園舎に入らせていただき、落ち着いた雰囲気ですぐに安心した。建物を有効利用しながら、認定こども園としての役割をもって保育してほしい。また、新園舎は、他の園の保育も参考にしながら縦割り保育等臨機応変に使用できるのではないかな。ホールへ落ち着いて礼拝できると思うし、礼拝堂としての役割も果たせるのではないかな？今の制限や制約の中でもできることを工夫し、子どもたちと様々なことを発見してほしい。

・園舎が建て替わるときを経て、貴重な経験をしたと思う。ひとつの終わりは新しいことの始まりの時でもある。淋しさを感じるが、新しいことを加えて、挑戦する保育、子どもたちとつくりあげる保育を目指して行って欲しい。

・園舎の引越しを子どもたちと共に迎え、子どもたちの気持ちにも寄り添った保育をしたことがうかがえる。これからも子どもたちの心に寄り添った保育をしてほしい。

以上